

7. 国内外のネットワーク推進事業

協会は、様々な事業の“ネットワーカー”（つなぎ役）となる場面が多い。この背景には①財政的自立度が高く独立した立場で行動、②長年の活動を通じ多様な分野にネットワークをもち分野横断的な仲介役機能、③NPOと企業、行政とのパートナーシップ形成のノウハウを蓄積、④推進機関の中でNPO界をリードする役割が期待されていることなど様々な要因があげられる。

2016年度も様々な結び役となったが、本章では他章で紹介していないものを中心に報告する。

1. 国内でのネットワーク推進

（1）主なネットワーク活動

■「ボランティア推進団体会議（通称：民ボラ）in 茨城（第34回）」の開催

- ・ボランティアを推し進める上での諸課題を協議し、ボランティア活動推進団体やNPO支援センターのミッションや運営のあり方を考える場として開催。16年度は、茨城NPOセンター・コムズが事務局となり、茨城県水戸市で開催した。協会は設立当初から参画し、世話人として会議の企画運営も引き受けている。詳細は2章に掲載。

■ボランティア推進関連のネットワーキング

- ・「広がれ！ ボランティアの輪・連絡会議」への参画（事務局：全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター）
- ・「関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会」への参画（事務局：年度世話人制）

■NPO推進関連のネットワーキング

- ・（特）日本NPOセンターへの参加
- ・（特）シーズ・市民活動を支える制度をつくる会への参加
- ・「NPO法人会計基準協議会」への参画（事務局：同協議会）
- ・「NPOの法制度等改革推進会議」への参画（事務局：日本NPOセンター）
- ・「関西NPO支援センターネットワーク（KNN）」への参画（事務局：年度幹事制）
- ・「近畿圏NPO支援センター連絡会議」への参画（事務局：近畿労働金庫地域共生推進室）

■CSRへの提言関係のネットワーキング

- ・「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画（事務局：日本NPOセンター）

■災害支援・防災のネットワーキング

- ・「震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）」への参加（事務局：レスキューストックヤード）」

■その他のネットワーキング

- ・「障害者週間協賛事業大阪実行委員会」への参画（事務局：積水ハウス㈱、積水ハウス梅田オペレーション㈱）
- ・「地域こども支援団体連絡会」への参画（事務局：大阪市ボランティア・市民活動センター）

（2）役員などの派遣（理事長、常務理事、事務局長などが役員などに就任している主な団体）

（社福）大阪府社会福祉協議会・理事（牧里理事長）、評議員（永井事務局長）／（社福）大阪市社会福祉協議会・評議員（牧里理事長）／（公財）ユニバーサル財団・理事（岡本顧問）／（公財）大阪ガスグループ福祉財団・評議員（岡本顧問）／（公財）日本生命済生会・評議員（岡本顧問）／（社福）大阪キリスト教社会館・理事（岡本顧問）／（認特）日本NPOセンター・代表理事（早瀬常務理事）／（公財）公益法人協会・理事（早瀬常務理事）／（特活）日本ファンドレイジング協会・副代表理事（早瀬常務理事）／（特活）日本ボランティアコーディネーター協会・副代表理事（早瀬常務理事）／（公財）大同生命厚生事業団・理事（早瀬常務理事）／（社福）朝日新聞厚生文化事業団・理事（早瀬常務理事）

上記以外に、事務局員等の個人活動として他団体の役員などに就いている場合がある。

2. 海外とのネットワーク推進

姉妹提携団体「韓国自願奉仕聯合會」との姉妹血縁記念の交流事業は、協会の青少年事業の縮小化など先方との共通テーマの設定が難しくなったため2014年度をもって終了したが、2016年10月7日に開催された同聯合会の創立25周年記念「韓日ボランティアワークショップ」にて、岡本榮一顧問が「韓日交流の意義と課題」について、また名賀亨常任運営委員が「韓日青少年ボランティア交流、その意味と課題」について講演した。